

多くの子ども達が新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになりました。しかし、身体や心に疲れが出て、ケガをしったり体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活をして、元気に過ごせるようにしましょう。

中耳炎について

急性中耳炎とは？

風邪が原因で起こる事が多く、鼻水が耳管(鼻と耳をつなぐ管)を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもの耳は、耳管が短くて太く、傾きが少なく平行な為、急性中耳炎になりやすいのです。

《症状》 発熱・耳の痛み・一時的な難聴
閉塞感・耳垂れ・耳を良く触る
機嫌が悪いなど

《予防》

鼻水はこまめにとる
鼻水はすすらない
鼻水は強くかまない
片方ずつ優しくかむ

滲出性中耳炎とは？

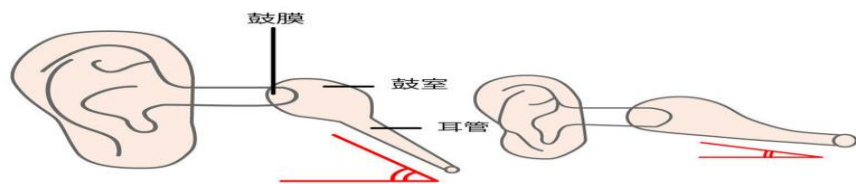
滲出性(しんしゅつせい)中耳炎は、鼓膜の奥、中耳腔に液体が溜まる病気です。急性中耳炎の後に発症しやすいと言われています。

発熱や痛みはあまり無く、主な症状は「難聴」です。難聴は、言葉の発達に影響します。呼んでも返事をしない、テレビのボリュームを上げる等の徴候がある時は、耳鼻科を受診しましょう。

治療には時間がかかりますが、根気よく続けましょう。

成人の耳管

子供の耳管



子供の耳管は、成人の耳管に比べて短く水平に近い

中耳炎は治療に時間がかかります。おかしいと感じたら早めに耳鼻科を受診し、7月からの楽しいプール遊びまでにしっかり治すようにしましょう！

春から初夏にかけて流行る感染症

- **溶連菌感染症**：春から初夏にかけて2～5日の潜伏期間の後、喉の痛みや発熱といった風邪に似た症状が出る。全身に赤いブツブツが出ることもある。
- **ヒトメタニューモウイルス感染症**：春から初夏(3～6月頃)にかけて2～5日の潜伏期間の後、咳・鼻水で始まりやがて高熱が出る。熱が4～5日続き、咳込みがひどく「ゼーゼー」呼吸が苦しようになる。状態によっては、入院治療が必要になる。
- **手足口病**：5月頃より増加し始める3～5日の潜伏期間の後、手のひら・足の裏口の中に赤いブツブツや水ぶくれができる。

爪はきれいかな？

爪が伸びていると、爪と指の間にバイキンが繁殖しやすくなります。

また、乳幼児の柔らかい肌を傷つける危険性もありますので、爪はこまめに切るようにしましょう。ただし、深爪には要注意！切りすぎて肌を傷つけ、化膿してしまうこともあります。

手の爪は、指の形に添って爪先の白い部分が少し残る程度に切ります。足の爪は、水平に白い部分は1ミリ程度残すように切るのが良いとされています。